

立教南無
850
年



第191号

令和4年
9月5日発行
秋彼岸号

西光



靈閑だより

徒然なるままに 半沢直樹と仏教

坊主のつぶやき

仏壇も小型・薄型の時代に 精進風コーンポタージュ

変わる「遺影」の在り方

日常に溶け込む仏教語 一念発起&三日坊主

秋彼岸会法要のご案内

お知らせ



浄土宗西山禅林寺派

雲龍山 西光寺

住職 大塚靈閑

〒671-0101 姫路市大塩町229

Tel 079-254-0351 Fax 079-254-4142

靈閑だより

徒然なるままに…

半沢直樹と仏教

以前、門前掲示板に書いた言葉です。

この世には三種の人があるといます。

① しばしば腹を立て、その怒りを長く持ち続け、怒りが岩に刻みこんだ文字のように消えることのない人

② しばしば腹を立てるが、その怒りが砂に書いた文字のように、速やかに消え去る人

③ 水の上に文字を書いても、流れて形にならないように、少しも心に跡を留めることがなく、温和な気の満ちている人

多くの人は②、時には①といったところでしょうか。なかなか③のような仏のような人にはなれません。何年前かに大ブームを巻き起こした私も好きなドラマ『半沢直樹』の名言「やられたらやりかえす 倍返しだ」は完全に①です。シーズン2の最後では半沢の怒りが頂点に達し、千倍返しにまでなります。なぜこの「目には目を、歯には歯を」の筋書きに皆喝采を送ったのかというと、皆①の経験があつて、今もなおその心を多かれ少なかれ持ち合わせているからに他なりません。ここにカタルシスを得るのです。

半沢直樹の倍返しに拍手喝采を送った私がいうのもなんですが、「やられたらやりかえす 倍返しだ」が仏教ではどうなるのかというと、

やられてもやりかえなさい

です。復讐の連鎖を断ち切るのです。浄土宗を開かれた法然上人がそうでした。



た。自身の父親が敵に討たれたことを、修行中の比叡山で聞きました。しかし上人は仇討ちという手段には出ませんでした。テレビの中の半沢直樹には倍返しをしてもらわないと、話が進まないのですが、現実世界では、ロシアとウクライナの長引く戦争を見ていてもそうですが、次のお釈迦様の言葉の方を噛みしめたいと思います。

うら。 怨みは怨みによって

しずまるものではない

怨みを忘れて

怨みはしずまるのである

『法句經』

敵に討たれる父と比叡山で修行中の法然上人（イラスト：京都瑞泉寺住職 中川龍学師）

さて『半沢直樹』シーズン2では、新たな名言が生まれます。香川照之さん演じる大和田常務は不祥事を起こしたにも関わらず、頭取から恩赦を受けたことで、「施されたら返し返す 恩返しです」と言ったのです。残念ながら現実世界でも不祥事を起こしてしまった香川さん、土下座をしても恩赦はなさそうな雲行きです。まさに世間からリアル千倍返しをくらってしまった格好です。正直に詫びて、これから役者として恩返ししていくしかなさそうです。そういえば「詫びろ 詫びろ 詫びろ」という名言もありましたね。

話が逸れてしまいました。「施されたら返し返す」を仏教の視点で見ますと、

施されなくても施す

となるでしょうか。施すといえは「布施ふせ」という考え方です。布施はお金や物の施しだけに限りません。思いやりのあることは、親切、親身な寄り添いなどにも及びます。「施されたら返し返す 恩返しです」もいい言葉なのですが、言っているのが大和田常務だけ

にどうも下心しか感じないのです。施す方も施される方も余計な下心を持ったり勘ぐりをしてはいけません。見返りを求めることなく、惜しみなくがポイントです。

統一教会の問題が世間を騒がせています。異常な献金の実態は本来清浄であるべき「布施」の悪用に映ります。皆様もどうぞ、献金をすれば救われるなど、救いに強い条件がつく誘いにはご注意ください。私たち浄土の教えはどうかというと、ご安心下さい。阿弥陀仏という仏さまは一切の条件をお付けになりません。

また話が逸れてしまいましたが、「布施」と簡単にいっても、現実はその簡単にはいきません。親切はするより受け取る方が難しいといえます。あまりに与えられてばかりだと負い目を感じ、負債をどんどん抱えているような感覚になります。そう考えると施しは与える方にもまして、どう受け取るか、受け止めるかという方がより大事になってきます。「素直に」受け取った時にこそ互いにハッピーな関係になれるのです。

この関係性が顕著に表れるのが親子の関係ではないでしょうか。「親孝行 したい時に親はなし」という言葉に表れているように、素直に受け取るには時間がかかることもあります。今や「親孝行 したくないのに 親がいる」などと言われてしまう時代です。「子供や孫に迷惑をかけないように」というのはどの親も皆持ち合わせている思いかと思えます。しかし子供の方もその気持ちに甘えてばかりいずに、その本当の気持ちを理解して支える心だけは持ち合わせたいものです。



仏壇も小型・薄型の時代に

姫路の仏壇屋さんが新作仏壇をお披露目とのニュースを目にしました。ノートパソコン型の仏壇で、開いて正面にはご本尊の仏さまの掛け軸、そしてパソコンでキーボードにあたる部分にお鈴、香炉、花立て、ろうそく立てなどの一通りの仏具、そして数珠が収納できるようなっています。ミカン箱くらいの仏壇であれば拝見したこともありませんが、ここまで小型、薄型にする発想には参りました。



ここまで小さくなるとノートパソコン感覚で好きな場所です。スターバックスで開けられます。出張に持って行ける勇気があれば開けることも可能です。時代の進化に世のお坊さんがついていけなくなってきました。

精進風

コーンポタージュ

とうもろこしをたくさん頂きましたので、一度やってみてみたかった真のコーンポタージュを作ってみました。

- 1 とうもろこしをラップしてレンジでチン
- 2 実を全部外し、残った芯を鍋に投入、コトコト水で茹でてダシをとる（この時点ですでに甘みはすごい）
- 3 さらに骨の髄までしゃぶりつくすが如く芯ごとミキサーにかけ、濾す（信じられない甘味）（外した実も一緒にミキサーにかけるもよし）
- 4 あとは牛乳を適量に加え、塩と胡椒で微調整

砂糖の甘味とは違った自然な甘味が爆発のとうもろこしのスープの出来上がりです。余すところなく有難く頂く、まさに精進料理といえる一品です。

※とうもろこしは二本くらいあればいいのですが、少ないとやや味が頼りないので便利屋コンソメの力を頼ってしまふことになります。



変わる

遺影

の在り方



遺影のないお葬式

遺影のないお葬式をした経験があります。いや「特定の」遺影がないというべきでしょうか。というのも祭壇上にモニターが設置されており、そこに故人の写真が数枚スライドショーで次々変わっていくのです。参列者にとっても生前の様々な姿に触れながら故人を送ることは感慨深いものです。僧侶側としてはその眼前のスライドショーに見入ってしまう、肝心のお経が疎かにならぬよう注意する必要があります。

遺影の扱いは自由

さて遺影についてですが、葬儀後の取扱いについては、どこに飾ろうが、いつまで飾ろうがそれは自由です。仏壇内のお祀りの一部ではないので、特に決まりはありません。家の仏間には少々大きすぎると思えば、写真立てにスナップ写真を入れて飾るもよし。葬儀の際に使用した写真とは違うものを後々飾っても何の問題ありません。

遺影Ⅱ究極の一枚？

仏壇前のスペースに写真アルバムを置いて、毎月故人の写真のページをめくって入れ替えておられるお宅があります。仏壇まわりは小難しいことは言わずに自分なりに故人を偲ぶ空間になさってよいと思っています。写真アルバムを置いておけば、自分自身を含めお参りする人達の間でも「これはあの時の」と自然と写真のエピソードとともに故人との思い出に触れる機会が多くなります。もし小さなお孫さんがいらっしやれば、「今月のいいじ選んであげて」と写真を選ぶ作業をやらせてみてほしいかもしれません。

遺影Ⅱ究極の一枚という概念を取っ払ってしまえば、亡くなってからお通夜までの短い時間にベストな一枚を選ぶという重荷から解放されることになるかもしれません。



平成6年、講習会で
講義をする先代住職

日常に溶け込む 仏教語



いちねんほっき 一念発起

みっかぼうず &三日坊主

車を運転してましたらカーナビから、習慣化コンサルタントなる人物が、「明日からやるぞ!」と決めたことを長続きさせるコツについて話をしていました。習慣化コンサルタント?、なんちゅう職業やそれと独り言を言いながら、聞いておりますと、まずはベイブーステップが大切という。例えば「明日から毎日三十分走るぞ」と目標を立てたとすると、初日はなんとランニングウェアを着てみ

るだけで良いらしい。翌日は靴も履いて、家の外に出てみる。そして三日目は家の周りを一周してみる。冗談やろと思ってしまうが、このベイブーステップという無理のない小さな一歩の積み重ねが大事とのこと。達成感がモチベーションの維持につながるらしい。無理やり納得させられた気分です。

さて、この「明日から始めるぞ」「今年こそは!」というのが一念発起です。そしてせっかく一念発起したのに、「今日は雨だしな」「今日はもう遅いから」と言い訳を探しながら尻すぼみしていくのが三日坊主です。つまりは「よし、やるぞ」が一念発起で、「やっぱり、やめた」が三日坊主です。そしてこの二つの言葉は仏教に関係する言葉です。

一念発起は「いちねんほっきほだいしん一念発起菩提心」の略です。

菩提とはさとりの境地のことで、「よし、さとりを求めて仏道に精進しよう」と心に強く誓うことを言います。普段お参りの際にも、お経の最後の方で「願がんにしきどく以此功德 平等施一切びようどうせうせうじきき どうほつばだいしん おうじょうあんらくしやく 同発菩提心 往生安楽国」と必ずお読みして

います。仏壇の向かって右側の掛け軸に描かれている善導ぜんどうだいし大師のお言葉です。この「発菩提心」、発起人の「発起」また「発心」なども皆同じ意味です。

三日坊主はいざ僧侶になるべく門をくぐったものの厳しい修行に心が折れて脱落してしまふことからという説もある一方で、坊主は僧侶のことを指しているわけではなく、へんしやう貶称としてやんちゃ坊主やわんぱく坊主などのように使われているとも言われているとか。

千里の道も一歩から。
あせらず、欲張らず、着実に。
ベイブーステップの心がけです。



西光寺の玄関に掲げられている「発菩提心」の額



秋のお彼岸法要

9月20日(火)

【説教師】

志方 長樂寺住職

しゃく こうゆう
釋 康祐 師

- 13時～ お彼岸のお勤め
13時30分～ お説教
14時30分～ 塔婆回向
15時30分頃 終了予定

長樂寺様は延命子安地藏をご本尊とし、安産子授け祈願の札所「谷の長樂寺」として有名です。平成23年には台風で裏山が崩落し、本堂や阿弥陀堂が全壊するなど甚大な被害を受けられました。復興に向けての歩みを進めておられる中、コンサート・展示会・フリーマーケット・婚活イベントなど様々な催しを企画なさっています。

とうばえこう ＜塔婆回向について＞

塔婆回向では西国三十三ヶ所の御詠歌をあげながら、ご先祖の戒名を読み上げ供養させていただきます。ご希望の方は当日世話人席にてお申込み下さい。1霊300円です。戒名(〇〇家先祖代々、俗名でも構いません)と施主名(お申込みの方のお名前)をメモしてお持ち頂くとスムーズです。



宗祖法然上人立教開宗850年

本山永観堂では、令和6年に迎える宗祖法然上人立教開宗850年に向けて、現在様々な記念事業を展開しています。記念事業の詳細については下記特設サイト、facebookを通じて随時発信しています。特設サイトでは、「立教開宗って何?」「法然上人ってどんな人?」「南無阿弥陀仏って結局何なの?」などの素朴な疑問についても分かりやすく解説しています。是非ご覧ください↓

◆宗祖法然上人立教開宗850年記念サイト

<https://honen850.jp/>



◆宗祖法然上人立教開宗850年記念 facebook

<https://www.facebook.com/honen850>



ご逝去の報



東ノ丁	藤井英也さん	86歳	令和4年8月1日寂
高砂	井川護さん	82歳	令和4年8月1日寂
西ノ丁	澤井すゑ子さん	92歳	令和4年8月5日寂
東ノ丁	山本敏子さん	85歳	令和4年8月7日寂
西ノ丁	井神スミエさん	94歳	令和4年8月21日寂

九月

焦らず、欲張らず、着実に

八月

己れ生ある間は、
子の身に代らんことを念い、
己れ死に去りて後には、
子の身を護らんことを願う

『父母恩重経』

門前掲示板

後記

2年前の秋のお彼岸法要は中止、昨年は朝・昼・夕の3回に分けてお勤めみの形式で行いました。通常の形での秋のお彼岸法要は実に3年ぶりになります。コロナ禍にあって、まだまだ安心できる状況とはいえませんが、感染対策を行いながら秋のお彼岸法要をおつとめさせて頂きたいと思っておりますので、どうぞお誘いあわせてお参り下さい。